



講座主旨  
日程内容

養成  
講座

【目的】子供たち有志によるボトムアップからのデジタル・シティズンシップ啓発と学校現場等におけるICT活用場面でのアップスタンダーづくり

【講座スローガン】

・良さを享受する賢さ ・上手に、善く使う健(強)かさ  
デジタル社会を生き抜く武器をもつ



回・日付	テーマ	DC9要素との関連	子供に提示するミッション	内容
第1回 6/9(日)	・メディアバランスと幸福	1, 2 3, 4 6, 8	おもいっきり使う —そのために賢くなる—	Kahoot!, 生成 AI, Deep L, 体験、自己分析、グループ協議、自己決定
第2回 6/29(土)	・プライバシー、セキュリティ ・デジタル足跡とアイデンティティ	1, 2 5, 7 8, 9	したたかに使う —そのために達人になる—	のっとり、釣り等への対処 自撮りと映り込み、著作権の知識とSNSの使い方の協議、検討
第3回 8/5(月)	・対人関係、コミュニケーション ・ネットいじめ、オンラインのもめ事、ヘイトスピーチ	3, 4 6 7, 8	じょうずに使う —そのために優しくなる—	『大炎笑』体験から炎上心理の実感、ネットのもめ事・いじめ・ヘイトの背景、対処の協議、検討
第4回 10/12(土)	・ニュースとメディアリテラシー	5, 8	〇〇のために使う —そのために大使になる—	フェイクニュース事例、Chat GPT 体験からメディアとの付き合い方の協議、検討

米国マイク・リブル(Mike Ribble 2015)による学校現場向けのデジタル・シティズンシップの概念と構成要素を示した『スクール・リーダーのためのデジタル・シティズンシップ・ハンドブック』(Mike Ribble & Marty Park 2019)から

- 1, デジタル・アクセス 2, デジタル・コマース 3, デジタル・コミュニケーション&コラボレーション 4, デジタル・エチケット  
5, デジタル健康福祉 6, デジタル法と規範 7, デジタル権利と責任 8, デジタル・フルエンシー 9, デジタル・セキュリティとプライバシー